果樹

小粒核果類に
適用拡大

シンクイムシ類・ミカンキイロアザミウマをはじめ主要害虫を同時防除

シンクイムシ類

ミカンキイロアザミウマ

キンモンホソガ

カメムシ類

チャノキイロアザミウマ

アブラムシ類

ハダニ類

®はケミノバ社の登録商標

ワイドな効果！

アーデント® 水和剤

Bayer CropScience

アーデント® 水和剤

農林水産省登録
第１８９５３号

有効成分：アクリナトリン‥‥3.0%
人畜毒性：普通物
（「毒物および劇物取締法」に該当しない薬剤を指す通称）

特長

- **難防除害虫スモモヒメシンクイやミカンキイロアザミウマに優れた効果を示します。**
- **ハダニ類、カメムシ類、シンクイムシ等の主要害虫に優れた効果を示し、同時防除が可能です。**
- **ミツバチ、マメコバチに比較的安全で、使いやすい薬剤です。**
  ミツバチ：散布2日後から導入可能 …… 平成2年、三重大（いちご）
  マメコバチ：散布液が直接虫体にかからなければ影響はない …… 平成9年、長野県果樹試
- **気温の高低にかかわらず、安定した効果を示します。**

使用のポイント

- 本剤には浸透移行性はありません。十分な効果を得るために、十分量を葉裏までていねいに散布してください。
- ボルドー液と混用する場合は、散布の直前に薬液を調製してください。

適用害虫と使用方法（抜粋）

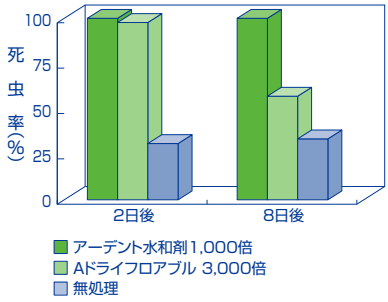
＊本剤およびアクリナトリンを含む農薬の総使用回数

作物名	適用病害虫名	希釈倍数	使用液量（ℓ/10a）	使用時期	総使用回数＊	使用方法
りんご	シンクイムシ類 キンモンホソガ アブラムシ類 リンゴハダニ、ナミハダニ	1000倍	200～700	収穫7日前まで	3回以内	散布
なし	シンクイムシ類 アブラムシ類 ハダニ類、カメムシ類					
かき	カメムシ類 カキクダアザミウマ ハダニ類 チャノキイロアザミウマ カキノヘタムシガ ミカンキイロアザミウマ					
もも	モモハモグリガ シンクイムシ類 アブラムシ類 ハダニ類、カメムシ類 ミカンキイロアザミウマ ドウガネブイブイ			収穫前日まで		
ネクタリン	モモハモグリガ シンクイムシ類 アブラムシ類 ハダニ類、カメムシ類 ミカンキイロアザミウマ					
小粒核果類	ハダニ類					
ぶどう	チャノキイロアザミウマ ハダニ類 フタテンヒメヨコバイ ミカンキイロアザミウマ			収穫7日前まで	4回以内	
いちじく	カンザワハダニ アブラムシ類 ショウジョウバエ類 ハスモンヨトウ ヨトウムシ			収穫前日まで	2回以内	
マンゴー	チャノキイロアザミウマ			収穫3日前まで		

（2011年10月現在の登録）

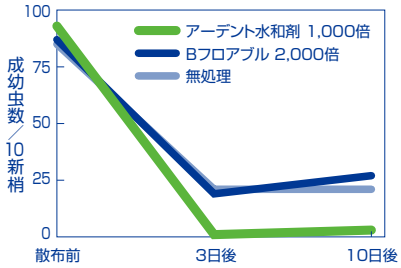
この他、きゅうり、すいか、メロン、トマト、ミニトマト、なす、ピーマン、とうがらし類、いちご、アスパラガス、パセリ、茶、きく、食用ぎくに登録があります。

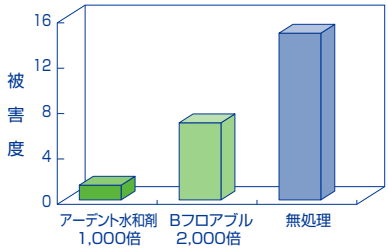
スモモヒメシンクイに対する残効性



作物（品種）：りんご（ふじ）
散布：7/16、十分量
調査：散布後、所定日に各薬剤区6果を無作為に採取し、成虫に一晩産卵させた後に生存虫数を調査。
（平成20年、長野果樹試験場）

ミカンキイロアザミウマに対する効果





作物（品種）：もも（山一白桃）
散布：8/22、40ℓ/樹
発生：多発生
調査：散布10日後に被害度調査。
（平成7年、山梨県果樹試）

⚠ 使用上の注意事項

- ハダニ類は薬剤抵抗性が発達しやすいので、本剤の連続使用は避け、作用性の異なる他の殺ダニ剤と輪番で使用して下さい。また、本剤の年間使用回数もできるだけ少なくするよう努めて下さい。
- 蚕に対しては長期間毒性があるので、近くに桑園のある場合には絶対にかからないようにして下さい。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態及び散布方法に合わせ調節して下さい。
- マンゴーに使用する場合、着色期以降の散布では果実に汚れを生じる恐れがあるので十分注意して下さい。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- ミツバチに対して影響があるので、以下のことに注意して下さい。
  - ○ミツバチの巣箱及びその周辺にかからないようにして下さい。
  - ○受粉促進を目的としてミツバチ等を放飼中の施設や果樹園等では使用を避けて下さい。
  - ○養蜂が行われている地区では周辺への飛散に注意する等、ミツバチの危害防止に努めて下さい。
  - ○散布直後から2日後まではミツバチを移動させるか、巣門を閉じて下さい。
- 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意して下さい。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けて下さい。
- 本剤は皮膚に対して刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意して下さい。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落として下さい。
- 本剤はのど、鼻、皮膚等を刺激する場合、また、かゆみを生じる場合があるので注意して下さい。
- 散布液調製時及び散布の際には保護眼鏡、農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣等を着用して下さい。
- 摘果等の作業の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣等を着用して下さい。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきって下さい。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないで下さい。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理して下さい。
- 直射日光を避け、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管して下さい。

●使用前にはラベルをよく読んでください。 ●ラベルの記載以外には使用しないでください。 ●本剤は小児の手の届く所へは置かないでください。

バイエルクロップサイエンス株式会社
東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262 www.bayercropscience.co.jp
お客様相談室：0120-575-078（9:00～12:00、13:00～17:00 土・日・祝日をのぞく）

F-1001/11.11.ZN